

**和光純薬工業株式会社の買収についての説明会  
主な質疑応答**

- Q1: TOBによる買収金額1,547億円は何年で回収を見込んでいるのか？
- A1: 今年度の和光純薬工業のEBITDA見込み額123億円に鑑みて、10年強での回収を見込んでいる。ただ広範囲でシナジーが見込めるため、さらに早いタイミングでの回収も期待できる。なおEBITDAのセグメント別の内訳は試薬が約40%、臨床検査薬が約40%、残りが化成品。
- Q2: 和光純薬工業とのシナジー効果をどのくらい見込んでいるか？
- A2: 2021年度で、和光純薬工業の売上は1,000億円、営業利益は180億円を見込んでいる。2015年度の営業利益約80億円に比べ、約100億円のかさ上げとなるが、この内半分程度を再生医療領域で和光純薬工業と富士フイルムの技術を組み合わせることで実現する。残りの50億円の内約30億円は試薬、臨床検査薬、化成品における両社の販売ネットワークの活用、富士フイルムの合成技術による試薬などのコスト削減などにより達成し、残りの約20億円については、原材料の共同購買や設備の有効利用による設備投資の削減などで達成出来ると見ている。

以上